

4 文化・科学技術・スポーツ

関連予算の執行額

(単位：千円)

| 会計 区分 | 予算科目 | | | 予算執行額 |
|----------|--------|------------|------------------|-----------|
| | 款 | 項 | 目 | |
| 一般 | 02 総務費 | 02 企画費 | 02 計画調査費 | 180,771 |
| 一般 | 07 商工費 | 02 工鉱業費 | 01 工鉱業総務費 | 1,377 |
| 一般 | 07 商工費 | 02 工鉱業費 | 02 中小企業振興費 | 1,051,703 |
| 一般 | 07 商工費 | 02 工鉱業費 | 05 工業技術センター費 | 220,099 |
| 一般 | 07 商工費 | 03 観光費 | 01 観光費 | 926,597 |
| 一般 | 08 土木費 | 02 道路橋りょう費 | 04 交通安全対策費 | 1,877,566 |
| 一般 | 08 土木費 | 04 港湾費 | 02 港湾建設費 | 2,973,603 |
| 一般 | 08 土木費 | 05 都市計画費 | 03 公園費 | 672,950 |
| 一般 | 10 教育費 | 06 社会教育費 | 03 文化及び文化財費 | 778,433 |
| 一般 | 10 教育費 | 06 社会教育費 | 04 文化の森総合公園文化施設費 | 735,789 |
| 一般 | 10 教育費 | 06 社会教育費 | 06 郷土文化会館運営費 | 225,392 |
| 一般 | 10 教育費 | 06 社会教育費 | 07 子ども科学館費 | 365,442 |
| 一般 | 10 教育費 | 06 社会教育費 | 08 文学書道館運営費 | 184,196 |
| 一般 | 10 教育費 | 07 保健体育費 | 02 体育振興費 | 554,110 |

1 文化の振興

1 芸術文化活動の充実（文化国際課，文化の森振興総局，生涯学習政策課）

1(1) 文化・芸術活動の創造・発表・鑑賞機会の充実

ア 芸術文化鑑賞機会の充実

とくしまきらり芸術文化事業や文化庁事業の実施，クラシックコンサートの開催等により，県民が優れた芸術文化に触れる機会の充実を図った。

こども芸術鑑賞教室 5 公演

本物の舞台芸術体験事業 26 公演

クラシック音楽演奏会 5 公演

イ 徳島県民文化祭事業

国民文化祭の成果を継承，発展させるためリニューアルし，新規事業を含む 91 事業を実施した。

ウ 地域の文化振興事業の推進

県内の芸術文化団体等と連携を密にして，学校への芸術家派遣事業などで活用を図った。

エ 顕彰制度の充実

県文化賞の贈呈 受賞者 田村恒夫氏

阿波文化創造賞の贈呈 受賞者 檜 千尋氏

1(2) 文化施設の整備充実

ア 郷土文化会館の充実

既存空調設備の老朽化に伴い，温室効果ガス削減や省エネルギーなど，地球温暖化対策に主眼を置いた空調設備の整備充実を図った。

郷土文化会館利用者数 358,877 人

イ 文学書道館の充実

文学及び書道の特別展や教育普及事業等を実施するとともに，展示室や講座室等を県民の利用に供した。また，文学書道資料の調査研究，収集・整理に取り組んだ。

文学書道館利用者数 61,524 人

ウ 阿波十郎兵衛屋敷の充実

阿波人形浄瑠璃振興の中核施設として，定期上演等を行うとともに，展示室や母屋等を県民の利用に供した。

阿波十郎兵衛屋敷利用者数 33,077 人

1(3) 文化情報の提供手段の充実

ア 文化情報ネットワークの推進

文化の森各館所蔵資料データベースの充実，データベースの利用普及，各種文化情報の提供等を行った。

データベースの入力状況（平成 21 年 3 月末日現在）

| データベースの種類 | 入力件数（件） |
|------------------|-----------|
| 書誌データベース | 1,292,629 |
| 博物館データベース | 319,653 |
| 美術館データベース | 57,601 |
| 文書館データベース | 95,188 |
| A V ライブラリーデータベース | 2,416 |
| 計 | 1,767,487 |

2 徳島の文化の担い手づくりの推進（文化国際課）

2(1) 文化団体の育成，指導者の養成

「第 22 回国民文化祭・とくしま 2007」の成果を継承・発展させるために文化活動を行う市町村，文化団体等に対して助成した。

| | | |
|-------------|------|-----------|
| 国文祭成果継承事業 | 20 件 | 11,210 千円 |
| 次世代・後継者育成事業 | 6 件 | 2,260 千円 |

2(2) 文化の担い手の養成

演奏会の出演者等に講師を依頼し実技指導の場を設けるなど，文化の担い手の養成を図った。

3 文化を育む環境づくりの推進（文化国際課）

3(1) 創造環境の充実整備

ア （財）徳島県文化振興財団の機能充実

県民の幅広い文化活動を支援し，新しい県民文化の創造と発展に寄与するため，財団法人徳島県文化振興財団の充実を図った。平成 20 年度事業として，自主事業 2 件，共催事業 2 件，補助事業 13 件を行った。

イ 「あわ文化」の創造と発信

「第 22 回国民文化祭・とくしま 2007」の成果を継承・発展させるために立ち上げた「文化立県とくしま推進会議」において，徳島ならではの文化の魅力を全国に発信する事業の第一弾として，「第九アジア初演 90 周年記念」コンサートを 3 回開催し，本県のイメージアップや交流人口の増加につなげた。

4 学校における文化・芸術活動の推進（学校政策課）

4(1) 学校における文化活動の振興

ア 県高等学校文化連盟へ活動費補助金の交付，県美術展へ県教育長賞の授与

4(2) 全国高等学校総合文化祭派遣事業

ア 第 32 回全国高等学校総合文化祭（群馬大会）への派遣

8 月 6 日から 8 月 10 日までの 5 日間，開催地群馬県へ 15 部門 22 校生徒 255 名を派遣した。

4(3) 近畿高等学校総合文化祭開催事業

ア 近畿 2 府 8 県の高校生が集い，芸術・文化活動の成果発表と交流を図る文化の祭典「第 28 回近畿高等学校総合文化祭」を本県で開催した。

会 期：平成 20 年 11 月 14 日～ 23 日

参加人数：6,032 名（参加生徒数）

5 文化の森総合公園の整備・充実（文化の森振興総局）

5(1) 積極的な資料収集と魅力ある常設展示や企画展の開催などを通じた普及・文化活動の充実

各文化施設の維持管理，運営に努めるとともに，美術品等の取得を行い資料の充実を図った。また，各館において，様々な企画事業を開催するとともに，各種普及事業を実施し，県民文化の振興に努めた。

文化の森総合公園入館者数

| 施設 年度 | 図書館 | 博物館 | 近代 美術館 | 文書館 | 21世紀館 | 合 計 |
|----------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 平成 20 年度 | 人 534,883 | 人 90,148 | 人 49,591 | 人 27,177 | 人 63,999 | 人 762,403 |

(注)「合計」は，共催等による重複調整を行っているため，各館の合計とは一致しない。

5(2) 県立近代美術館サテライト・ギャラリー事業

県庁 11 階の「県庁ギャラリー」，県立三病院及び西部総合県民局（美馬庁舎）にサテライト・ギャラリーを設け，県民の憩い・癒しの場を形成することで地域活性化に努めた。

2 歴史・文化の継承と活用

1 文化財調査の促進（文化財課）

1(1) 徳島県中世城館跡総合調査事業

県内に所在する中世城館跡について，遺構・文献等の基礎的調査を行った。

1(2) 埋蔵文化財の所在調査

ア 発掘調査

徳島南環状道路関連事業等に伴う埋蔵文化財の発掘調査など 9 遺跡（(財)徳島県埋蔵文化財センターへ業務委託）

イ 出土品整理

徳島南環状道路関連事業等に伴う埋蔵文化財出土資料整理など 7 遺跡（(財)徳島県埋蔵文化財センターへ業務委託）

1(3) 天然記念物の調査

カモシカ通常調査 県内 8 市町（旧 12 町村域）における，生息環境，生息状況及び食害調査等の実施

2 文化財の保護管理（文化財課）

2(1) 文化財の指定

ア 徳島県文化財保護審議会の運営

イ 文化財の指定等

| 種別 | 名称 | 員数 | 所在地 | 所有者又は所持者 及び管理者 | 指定又は 登録年月日 |
|--------|-------|----|-------------------|-------------------|------------------------|
| 選定保存技術 | 建造物木工 | - | 三好市山城町上名 4 0 1 | 中山利夫(保持者) | 平成 21.3.31 (選定及び認定) |

2(2) 指定文化財管理

ア 文化財パトロール事業の実施

文化財巡視員(非常勤特別職)による指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地の点検を行った。

イ 指定文化財の小修理, 環境整備事業の実施

ウ 指定文化財の防災設備等の保守点検の実施

3 文化財の保存整備活用(文化財課)

3(1) 文化財の保存整備活用

ア 重要文化財等の保存修理

(ア) 国選定「美馬市脇町南町」重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業の実施

(イ) 国選定「三好市東祖谷山村落合」重要伝統的建造物群保存地区保存対策事業の実施

イ 史跡の整備活用

(ア) 国指定史跡「阿波国分尼寺跡」保存整備事業の実施

(イ) 国指定史跡「段の塚穴」土地購入事業の実施

(ウ) 国指定史跡「郡里廃寺跡」保存整備事業の実施

(I) 室町口マン守護町勝瑞総合支援事業の実施

・ 守護町勝瑞遺跡発掘調査支援事業の実施

・ 勝瑞城館跡史跡整備事業の実施

・ 守護町検証会議の開催

・ 勝瑞学アカデミーの開催

平成 20 年 6 月 22 日 藍住町コミュニティセンター 参加者 105 名

平成 20 年 9 月 14 日 藍住町コミュニティセンター 参加者 92 名

平成 20 年 11 月 3 日 藍住町コミュニティセンター 参加者 99 名

(オ) 国指定史跡「徳島藩主蜂須賀家墓所」公有地化支援事業の実施

(カ) 国指定史跡「徳島藩主蜂須賀家墓所」整備事業の実施

ウ 無形文化財の保存伝承

(ア) 民俗文化財地域伝承活動の実施

阿波人形じょうり伝承教室を開催し, 普及・啓発活動による人形浄瑠璃愛好者層の拡大を図った。また, 国指定重要無形民俗文化財阿波人形浄瑠璃の三構成要素である大夫・人形遣い・三味線の三部門について, 技法や情緒を習得させ, 民俗文化財の保存意識の高揚と伝承者の養成を図った。

(イ) 第 50 回中国・四国ブロック民俗芸能大会出演者派遣事業

期 日 平成 20 年 11 月 9 日

場 所 岡山県倉敷市 倉敷芸文館ホール

出演団体 中国・四国ブロックの 8 県からは各 1 団体，岡山県からは 2 団体の計 10 団体が出演した。

本県出演団体 松茂町 阿波人形浄瑠璃芝居ふれあい座

(7) 徳島県無形文化財保持者の育成

無形文化財保持者のうち，次の者に対し技能の錬磨及び公開並びに後継者の育成を図るため助成を行った。

| 氏 名 | 保存技術の内容 | 指定年月日 |
|------|--------------------|-----------|
| 藤森 実 | 手漉和紙製造の技法 | 昭 45.6.2 |
| 竹内晃子 | 阿波藍による灰汁自然発酵建による藍染 | 昭 57.3.23 |
| 杉山俊雄 | 刀剣製作 | 平 12.3.21 |

3(2) 文化財情報の発信

ア 文化財 PR 資料の作成

(7) 「2008 発掘とくしま」パンフレットの刊行

(イ) 文化財保護強調ポスターの印刷，配付

イ 展示会開催等

(7) 「2008 発掘とくしま」の開催

平成 20 年 6 月 20 日～7 月 20 日（徳島県立埋蔵文化財総合センター）

(イ) 遺跡発掘体験見学会の実施

平成 20 年 7 月 22 日～7 月 25 日（南蔵本遺跡）

(ウ) 展示解説・調査成果報告会の実施

平成 20 年 7 月 6 日，7 月 13 日（徳島県立埋蔵文化財総合センター）

(エ) 弥生シンポジウムの実施

平成 20 年 9 月 14 日（徳島県立埋蔵文化財総合センター）

4 文化財の愛護思想の高揚（文化財課）

4(1) 文化財の人材育成

ア 養成講座・研修会等の実施

(7) 文化財指導者講習会の開催

平成 21 年 1 月 22 日，文化財関係者 120 名の参加を得て実施

(イ) 市町村埋蔵文化財担当専門職員研修会の開催

平成 20 年 9 月 26 日，平成 21 年 3 月 6 日開催

(ウ) アワコウコ楽サポーター養成講座の実施

平成 20 年 7 月 27 日，8 月 10 日，9 月 7 日，10 月 18 日の 4 回実施

(エ) アワコウコ楽スクールリーダー養成講座の実施

平成 20 年 7 月 23 日，8 月 6 日，8 月 20 日，9 月 13 日，11 月 26 日の 5 回実施

(オ) 文化財マイスター養成講座の実施（県内建築士対象）

平成 20 年 7 月 26 日～平成 21 年 3 月 7 日に 15 回実施 14 名が修了

4(2) 郷土文化教育の推進

ア 郷土文化教育の教材の整備

(ア) 郷土文化教育教材整備事業の実施

「ゲンちゃんと学ぼう徳島の歴史舞台」の作成

イ 埋蔵文化財を活用した学校教育の支援

校外行事等による徳島県立埋蔵文化財総合センターの活用について積極的な支援を行った。

5 歴史・文化の情報収集（文化の森振興総局）

5(1) 本県の歴史・文化に関する情報，資料の収集

県立文書館において，歴史的文化的価値を有する資料の積極的な収集を行った。

3 科学技術の振興

1 科学技術を担う人づくり（新産業戦略課，にぎわいづくり課）

1(1) 表彰制度等を通じた人材の育成・確保

本県の科学技術を支える優れた人材の育成・確保を図るため，国の表彰制度を活用し，技術者等の科学技術振興に対する意識の高揚と意欲の増進を図った。

1(2) あすたむらんど（子ども科学館）の管理運営

未来を担う子ども達が，遊びや体験を通じて科学する心や姿勢を培い，豊かな心を育てるあすたむらんど（子ども科学館）の適正な管理運営を行うとともに，企画展など様々な事業を実施し，創造性豊かな青少年の育成に貢献した。

2 研究開発基盤の充実（地域経済課）

2(1) 技術シーズ開花事業

県内企業の新製品，新技術の開発促進を図るため，提案公募型研究開発事業実施のために必要なデータ収集等のための予備的研究3件を地域の産学官が連携し実施した。（8,400千円）

4 スポーツ・レクリエーションの振興

1 生涯スポーツ活動の推進（県民スポーツ課）

1(1) 徳島型豊かなスポ - ツライフ推進事業

市町村等が行う総合型地域スポーツクラブ（以下「総合型クラブ」という。）の創設・運営を

多面的に支援し、本県における生涯スポーツ推進を図るため、各総合型クラブの中核となる人材育成や普及啓発活動を実施した。

平成 20 年度までに 25 クラブが設立され、3 クラブが創設に向けて取り組んでいる。

| 事業内容 | 実績 |
|----------------|---|
| 有資格者の派遣 | 総合型クラブ未育成町等：3 回 育成指導・クラブ巡回：60 回 |
| 総合型クラブ連絡協議会の整備 | 会議：4 回 参加人員：109 名 |
| クラブマネジャー養成講習会 | 回数：5 回 受講対象者数：21 名 修了者数：8 名 |
| コーディネート講習会 | 回数：2 回 参加者数：59 名 |
| ゾーンサポート | 実施校：4 校 事業実施回数：26 回 |
| 情報提供・啓発 | ホームページアクセス：160,566 件 啓発パンフ配布：5,000 部 啓発ブース設置：3 カ所 |

1(2) スポーツ夢タウンづくり支援事業

地域に密着したスポーツ振興を展開するため、地域における拠点づくり支援事業として、社会貢献活動団体（NPO 法人）や総合型地域スポーツクラブより提案された事業に対し助成を行った。

| 団体名 | 期 日 | 会 場 | 事業内容 | 参加人数 |
|---------------------------------|---------|-------|-------------------------------------|------------------------|
| 特定非営利活動法人あいすみスポーツクラブ 他 11 事業 | 4 月～3 月 | 藍住町 他 | メタバ解消のきっかけとなる ポピュレーションアプローチ 他 | 12 事業 延べ 8,014 名 |

1(3) とくしまスポーツSHOWデー事業

スポーツを「する」「見る」「支える」といった新たなスポーツ振興の仕組みを創るため、県民スポンサー事業として、企業及び団体からの協賛金により、スポーツイベントや地域密着型プロスポーツの応援企画への助成、情報発信などを行った。

| 事業名 | 期 日 | 内 容 | 参加人数等 |
|---------------------|----------|---|---------------------|
| とくとくスポーツイベント助成事業 | 4 月～3 月 | 17 件のスポーツイベントに助成を行った。 | 9,108 名 |
| 地域密着型プロスポーツ応援企画助成事業 | 4 月～3 月 | 2 件の応援企画に助成を行った。 | 2,619 名 |
| ファミスポSHOWカーニバルの開催 | 11 月～3 月 | 海陽町(11/2)、美馬市(1/25)、鳴門市(3/7)において、家族が参加できるスポーツイベントを開催した。 | 延べ 2,740 名 |
| スポーツステーションサイトの運営 | 4 月～3 月 | 「とくしまスポーツSHOWデー・ステーションサイト」を運営した。 | 総アクセス数 543,574 件 |

2 指導者の養成と活用（県民スポーツ課）

2(1) こどもの夢はぐくみ事業

子ども達のスポーツへの関心を高め、将来へのスポーツ振興につなげる動機づけとするため、子どもやその保護者・指導者を対象とした有名スポーツ選手等によるスポーツ講習会を実施した。

| 講習会名 | 期日 | 会場 | 人数 | 内容 |
|----------------------|--------|-----|------|---------------------------------------|
| プロ野球選手によるベースボール塾 | 12月28日 | 鳴門市 | 440名 | 里崎智也選手ら14名の現役プロ野球選手等による野球講習会 |
| “なるほど”ミニバスケットボールセミナー | 1月24日 | 勝浦町 | 93名 | 県外大学バスケットボール部コーチ（小牟礼育夫氏）による実践的・総合的な指導 |

2(2) 多様なスポーツニーズに対応した指導者の養成及び派遣

ア スポーツ少年団リーダーの育成

| 事業名 | 期日 | 会場 | 人数 | 内容 |
|-------------------|---------------|-----|-----|-------------------------|
| 第35回日独スポーツ少年団同時交流 | H20.7.20～8.11 | ドイツ | 4名 | スポーツによる国際交流，リーダー派遣・受け入れ |
| | H20.7.25～7.29 | 県内 | 11名 | |

イ 市町村生涯スポーツ推進担当者の養成

| 事業名 | 期日 | 会場 | 人員 | 内容 |
|-----------|-------------|-----|-----|-----------|
| 水泳指導者講習会 | H20.6.10~11 | 徳島市 | 20名 | 水泳（講義・実技） |
| 徳島県ダンス講習会 | H20.8.6 | 徳島市 | 56名 | ダンス（実技） |

ウ 派遣社会教育主事（スポーツ担当）の配置

3名を勝浦町，美波町，上板町に派遣し，地域スポーツの振興に努めた。

3 施設・設備の整備拡充（都市計画課，港湾空港企画課）

3(1) 公園整備事業費

ア 南部健康運動公園

平成20年7月の管理棟及び多目的広場の供用に引き続き，テニスコートエリアの整備を行った。

イ 鳴門総合運動公園（鳴門・大塚スポーツパーク）

園路のユニバーサルデザイン改修及び弓道場の耐震診断を実施した。

3(2) 橋港公共用地レクリエーション施設用地の整備

土地造成の進捗を図った。

4 競技力の向上（県民スポーツ課，体育健康課）

4(1) 競技力向上対策事業

本県の競技力の維持向上に努めるとともに，広く県民にスポーツに対する関心を定着させ，将来にわたって本県スポーツの充実発展を期するため次の事業を実施した。

ア 選手強化対策事業

練習会や遠征・合宿等の経費を過去の実績に基づいて助成する「強化対策推進事業」とプレゼンテーション審査を経て競技特性に応じた強化事業を行う「特別強化事業」を実施した。

イ 競技力向上スポーツ指定校事業

優秀選手の集中を進め，指導者の適正配置を行うとともに，遠征・合宿等の強化活動費を助成することにより，インターハイや国体等の全国大会での活躍が期待できる高校運動部を指定した。

ウ スポーツ医科学推進事業

国体選手にメディカルチェックやフィジカルチェックを実施し，また，チームにトレーナーや栄養士の指導スタッフを派遣して栄養面・フィジカル面の改善指導や，競技会に帯同してのコンディショニング管理を行った。

4(2) 国民体育大会派遣事業

| 大会名 | 会場 | 競技 | 役員 | 監督等 | 選手 | 計(人) |
|----------------|------------|----------|----|-----|-----|-------|
| 第 63 回大会 | 大分県 | 陸上他 31 | 28 | 39 | 291 | 358 |
| 第 64 回冬季大会 | 青森県 新潟県 | スキー他 1 | 6 | 4 | 16 | 26 |
| 第 29 回四国ブロック大会 | 香川県 | サッカー他 31 | 12 | 78 | 594 | 684 |
| 合計 | | | 46 | 121 | 901 | 1,068 |

5 学校スポーツ活動の活性化（体育健康課）

5(1) 地域スポーツ人材の活用実践支援事業

ア 外部指導者の活用

小学校の体育授業及び中・高等学校の運動部活動の活性化を図るため，142人（小学校9校23人，中学校38校80人，高等学校21校39人）の外部指導者を派遣するとともに，外部指導者及び運動部活動顧問に対する研修会を開催した。

5(2) 子どもの体力向上指導者養成研修事業

子どもの体力を高めるための学習指導の在り方等について，指導者としての必要な知識や技術の習得を図るために研修会を開催した。

（4日間 17県参加 受講者 小・中・高等学校 228名）

ア 全体会 学習指導要領の改訂と今後の学習指導の在り方

イ 班別学習

- ・研究協議「体力向上に向けた取組の工夫について」
- ・演習，協議「学習指導の在り方について」

6 プロスポーツによるにぎわいの創出（にぎわいづくり課）

6(1) エンジョイ プロスポーツ事業

プロスポーツチームの集客力や情報発信力を活用し，本県のPRやスポーツ文化の振興等，本県のにぎわい創出につながる施策を実施した。